

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

コロナ禍における「旅行産業」は、リセットとビジネスモデルの再構築・再起動を余儀なくされた業種の一つであるが、世界的に見ればまだまだ成長する基幹産業である。旅行をグローバルビジネスの側面から掘り下げて多角的にアプローチした結果、見えてくる近未来の旅行ビジネスとはどんなものだろうか。近代人類史上最大のリスクである新型コロナウイルスを乗り切った次のフェーズにある新しい「ニューノーマルな旅行」を形にして運営するにはどうすればよいか、の答えを導こう。従来のビジネスモデルと近未来の目指すべき方向性を織り交ぜて考える講義とする。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション 評価方法・受講ルール、日本の旅行の歴史、観光業の裾野
第 2 回	三密を避けたらビジネスモデルが崩壊した運輸交通・航空業界の振り返りと対策
第 3 回	少子高齢化・オンラインに対応していたコロナ以前の旅行会社のビジネスモデル
第 4 回	創業以来最大の危機に瀕した JTB・KNT・日本旅行の大手 3 社が直面する近未来予想図
第 5 回	アウトバウンドで急成長した HIS の失速！ベンチャーの雄の再浮上ストーリーは？
第 6 回	航空会社の「ダイナミック・プライシング」が旅行業界・マーケットに与える影響と AI
第 7 回	女子大好きテーマパークの再生は？ TDR・USJ・サンリオピューロランドの考察
第 8 回	「国策：インバウンド 2030 年 6 千万人達成」への成功シナリオ
第 9 回	特別プログラム：日本の「国立公園」① コロナ禍が旅行ビジネスや会社勤務をどう変えたか
第 10 回	特別プログラム：日本の「国立公園」② 環境省の国立公園パートナーシッププログラム締結
第 11 回	特別プログラム：日本の「国立公園」③ 国立公園満喫プロジェクトと埼玉県内の地域連携
第 12 回	業界別生き残り戦略 JAL vs ANA、羽田空港 vs 成田空港、JTB vs KNT
第 13 回	アフターコロナにおける成長マーケットの考察① オンラインが定着した法人需要の行方
第 14 回	アフターコロナにおける成長マーケットの考察② 5 つ星ホテルオープンラッシュに期待する
第 15 回	旅行ビジネスの振り返りと未来、理解度チェック、課題提出
第 16 回	定期試験は実施しない

到達目標

- ① 旅行ビジネスをコロナ前・アフターコロナに分けて、その変化とマーケット予測ができるようになる。
- ② 旅行会社・キャリア・宿泊・テーマパーク各業界の今後の戦略を明確に理解し説明できるようになる。
- ③ 本学が締結する環境省との「国立公園オフィシャルパートナーシップ」の内容を理解し、就活にも役立てることができるようになる。

履修上の注意

- ・授業計画は変更になることがあります。
- ・授業に動画やウェブサイトを取り入れます。
- ・ゲストスピーカー、外部講師を招いての講義を行うことがあります。

予習・復習

予習：次回取り上げるテーマとキーワードを事前に調べておくこと。

復習：課題提出により講義の内容を振り返る。結論を先に述べその理由を含め 200 文字で完結させる能力を習得する。

評価方法

平常点 30%

理解度テスト 30%

課題レポート 40%

テキスト

テキスト指定なし

PPT 資料を作成し、メモを取る形式の講義を行います。手元資料を配布することもあります。